

ネットワークボード

「えびすアートコネクト2024」(1/19-21)が開催されます。これは、文字通り「えびすで活動する事業所がアートでつながるイベント」で、主催は一般社団法人シブヤフォント、渋谷区が後援しています。内容を少しだけ紹介すると、シブヤフォントのアートが展示されるミュージアム、自分で作れるメッセージカードやエコバッグ、そしてとてもユニークな「対話型アート鑑賞会」などどれをとってもオリジナリティに溢れる企画満載の3日間です。会場は渋谷東しぜんの国こども園「BUTTER」。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

(編集部)



編集後記



新しい年を祝うはずの元日から、大変心を痛めるニュースが次々に飛び込んで来ました。能登半島地震で被災された皆様、並びに羽田空港での事故に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。能登ではすでに緊急支援団体が動き始めていますが、余震が続き、各地で道路が寸断されている状況でなかなか思うように手が届かないという報道がありました。少しでも被害が少なく済むよう、祈るしかありません。

私たちぱれっとが取り組む障がい者分野の当事者ならびに家族は、災害時に一般の市民と同じ避難所で過ごすことについて難しい人たちが多く、東日本大震災の時も、パニックになる、大声が出てしまうなどで避難所を離れ、半壊している自宅に戻らざるを得なかったり、遠い親戚を頼って身を寄せるケースも多々見られました。災害時の大きな課題です。

報道や映像に触れるたびに落ち込みがちになりますが、一方で東日本大震災の時のような「自粛、自粛」に進むのではなく、思いを寄せながらも、「日常をしっかりと過ごす」ことが東京で暮らす私たちには必要に思います。当事者、支援者を含め、現場で奮闘する方々を支え、少しでも後押しできるよう、私たちは元気に毎日を送る必要があります。「AAR 難民を助ける会」(<https://aarjapan.gr.jp/>)では障がい者施設に向けた緊急支援を始めています。また、「きょうされん」(<https://www.kyosaren.or.jp/>)では各地の被災状況について最新情報をアップしています。ひとりひとりが出来ることを考え、実践していきたいと思います。

(みなみやま)